

災害級の熱さが続いています。どこかに出かけようという気さえ起きません。休みの日は一日中部屋でごろごろしています。加えて九州から東北にかけての豪雨です。関東だけが何となく無事のようにですが、この先どうなるかわかりません。

先日住んでいる場所の自治会で浸水被害と対策の勉強会が開かれました。「浸水ナビ」という国交省が作ったアプリで、自宅がどのくらい水没するかがわかります(地図上でどンドン自宅に水が押し寄せてくる様子がシミュレーションできます。すごいです。)。それによると、我が家は利根川が決壊すると最大1.5mくらい水没するということがわかりました。自治体では、コロナ禍の影響か避難所に多数が避難するより自宅の2階以上に避難(垂直避難)を推奨しています(2階まで水が来ない、土砂崩壊の恐れがないなどが条件)。確かに、大雨のなか避難所まで避難するより、自宅の2階にいたほうが安全かもしれません。ただ問題は、我が家の場合、近くの小さな川が決壊したときでも3日くらいは水が引かないということです。電気もガスも水道も止まった状態で孤立します(周りが水だらけで避難もできません)。1週間程度は籠城する覚悟と準備が必要かもしれないということです。

今回、豪雨被害と熱中症ダブルで来て大変な状況になっている地域も多いと思います。国から「今夏の災害発生時における熱中症対策について(周知依頼)」という通達が出ています。(中山)

目次

- 1 今夏の災害発生時における熱中症対策について(周知依頼)
 - 2 新型コロナ後遺症について「企業向けリーフレット」を発行(東京都)
 - 3 行政事業レビュー「がん診療連携拠点病院機能強化事業等」
「がんの死亡率減少」と「仕事と治療の両立」が議論の焦点に
 - 4 関連情報
- 1 今夏の災害発生時における熱中症対策について(周知依頼)
<https://www.mhlw.go.jp/content/001122282.pdf>
○熱中症環境保健マニュアル

https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/manual/heatillness_manual_full.pdf

○自然災害時の注意事項

上記マニュアルのうち、災害時の熱中症対策について記載されている部分です

https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/manual/heatillness_manual_3-6.pdf

(参考)

◎労働環境での注意事項

https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/manual/heatillness_manual_3-5.pdf

◎「働く人の今すぐ使える熱中症ガイド」 熱中症の予防・症状・応急手当を解説(厚労省)

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/news/2023/012346.php>

2 新型コロナ後遺症について「企業向けリーフレット」を発行 支援の流れや職場における配慮事例を掲載(東京都)(保健指導リソースガイド)

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/news/2023/012340.php>

3 行政事業レビュー「がん診療連携拠点病院機能強化事業等」(保健指導リソースガイド)

「がんの死亡率減少」と「仕事と治療の両立」が議論の焦点に

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/news/2023/012312.php>

○行政事業レビューとは

<https://www.gyokaku.go.jp/review/img/R04howtoreview.pdf>

○行政事業レビューの年間スケジュール

<https://www.gyokaku.go.jp/review/img/R05schedule.pdf>

○公開プロセス

https://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/2023_process.html

※なお、今回の行政事業レビューでは「未払賃金立替払事務実施費」についても実施されています。未払賃金立替払事業では労働者健康安全機構が支払業務等を行っています。

4 関連情報

(JILPT)

●精神障害者の雇用増加、ノウハウは「途上」「手探り」が最多／民間調査

パーソル総合研究所は10日、「精神障害者雇用」の現場マネジメントについての調査結果を発表した。精神障害者の雇用が増加した企業は33.8%と、全障害種の中で最も多い。障害種別の雇用ノウハウをみると、「十分ある」または「困らない程度にある」企業は、身体障害者（44.6%）が最多で、知的障害者、精神障害者の順。一方、「ノウハウは蓄積途上」または「経験に乏しく手探り状態」の企業は、精神障害者（57%）が最も多く、精神障害者の雇用数の増加に雇用ノウハウの蓄積が追い付いていないとしている。障害者個人調査結果では、安定就労等が難しい精神障害者は、本人の希望に対し処遇が低い傾向などが明らかになった。

<https://rc.persol-group.co.jp/news/202307101000.html>

●医師の時間外等労働、年960時間超が「いる」は3割超／医師の働き方改革調査

全国自治体病院協議会は13日、「医師の働き方改革の取組状況に関するアンケート調査」結果を発表した。時間外・休日労働時間の状況は、「医師は全て年960時間以下」65.4%、「年960時間超1,860時間以下の医師がいる」34.2%、「1,860時間超過の医師がいる」3.3%。法定労働時間等が適用除外になる「宿日直」の許可取得状況は、全診療科で取得は41.0%。勤務医の時間外労働時間の上限規制（2024年4月より年間960時間、月間100時間未満等）の適用への取り組み状況では、「取り組みに着手している」56.8%、「取り組む予定」18.5%など。

<https://www.jmha.or.jp/contentsdata/hatarakikata/chosa/20230710.pdf>

●モデル就業規則の改訂版を公表／厚労省

厚生労働省は、常時10人以上の従業員を使用する使用者に作成等を義務付けている就業規則について、「モデル就業規則」（2023年7月版）を公表した。

主な改訂事項は、退職金の支給（54条）で、「自己都合による退職者で、勤続

〇〇年未満の者には退職金を支給しない」の削除など。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/zigyounushi/model/index.html

●成果や能力を重視した昇進は7割、成果に基づいた賃金は6割が支持／厚労省調査

厚生労働省は「労働者の働き方・ニーズに関する調査（中間報告）」を公表している。昇進の決め方については「年齢や勤続年数よりも、成果や能力を重視」とする回答が71.3%、「（「そう思う」「ややそう思う」の計）、賃金は「働いた時間より成果に基づいて決める」が63.6%（同）に上った。「一つの企業で働くことをこれまで以上に重視

するか」では、「重視する」が57.9%（同）。希望する労働時間制度では、始・終業時刻が決まっている「通常の勤務制度」61.8%（「働きたい」「やや働きたい」の計）、「フレックスタイム制」は53.2%（同）、「変形労働時間制」37.3%（同）など。この中間報告は、6月23日の「新しい時代の働き方に関する研究会」に資料として提出された。

（中間報告）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201250/001111574.pdf>

（東洋経済オンライン）

● 「パワハラに遭いやすい」40代男性に見られる特徴
上にも下にも気を遣い、疲弊する40代の苦悩

<https://toyokeizai.net/articles/-/682410>

（AERA ドットコム）

● 「大企業」「出世」「人脈」にまつわる3つのこだわり メンタル不調にならない転換方法

<https://dot.asahi.com/dot/2023070300016.html?page=1>

（読売新聞オンライン）

● 「デスク爆弾」は職場の迷惑行為？雑談されると逃げ場ないが…

<https://www.yomiuri.co.jp/otekomachi/20221220-OYTET50018/>

● yomiDr（ヨミドクター）

再発しやすいうつ病、4回発症休職を繰り返した管理職男性が迎えた結末は…

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230714-OYTET50001/>

小野田 富貴子（両立支援担当）

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤（メンタルヘルス担当）

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

yukikan28@gmail.com